



事業計画及び成長可能性に関する事項

株式会社クオルテック【証券コード：9165】

目 次

01 | 会社概要

02 | 事業概要

03 | 成長戦略

04 | 業績見通し

05 | まとめ

06 | 附録



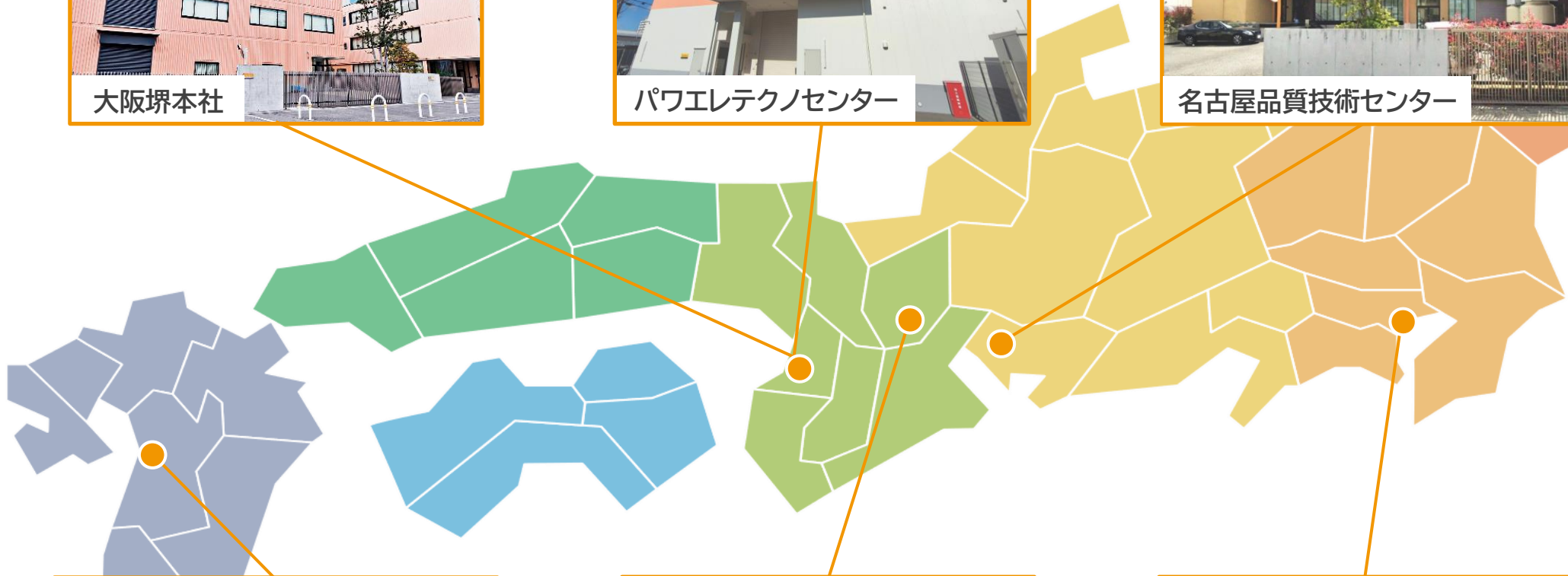


01 | 会社概要

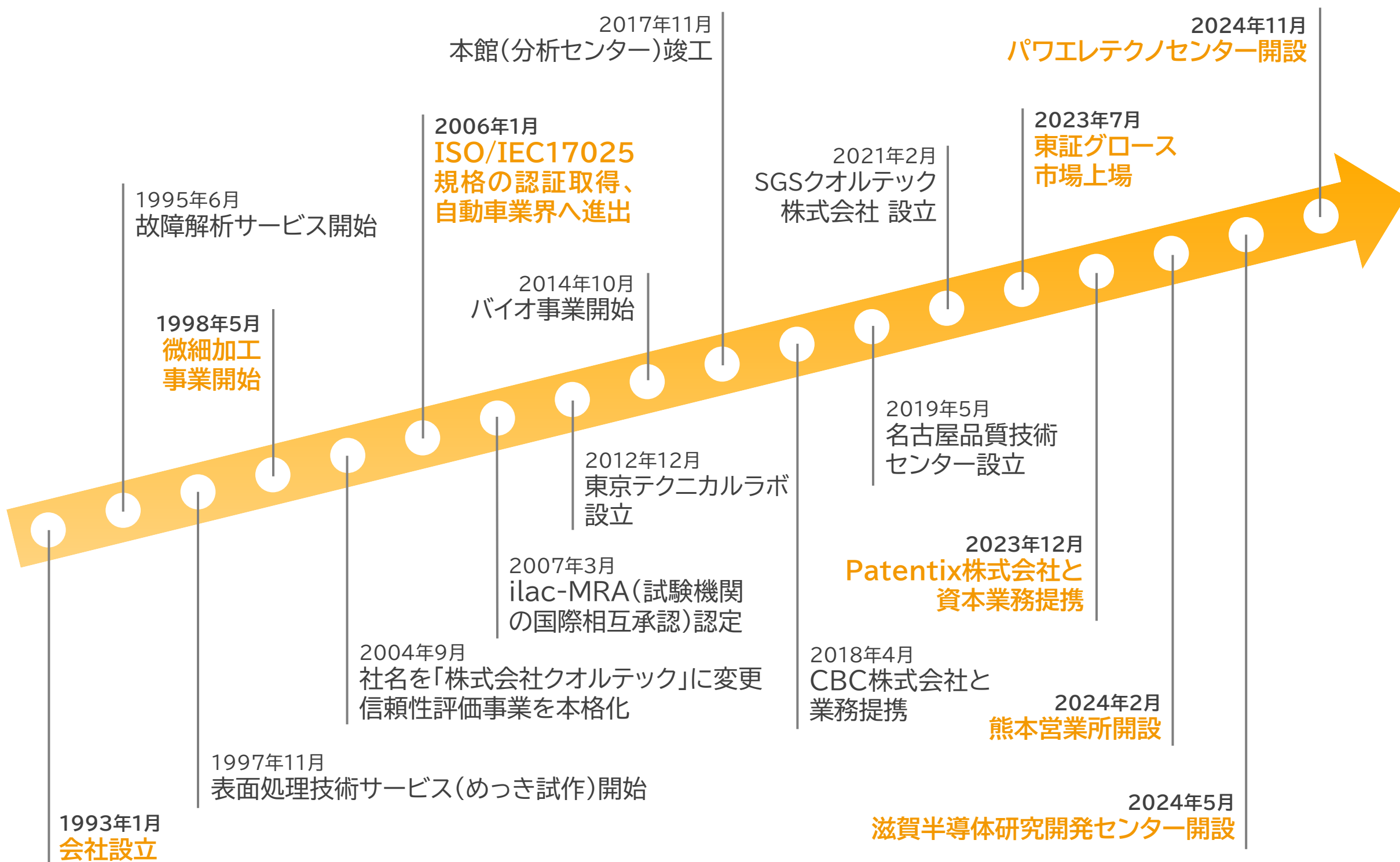
会社情報

社名	株式会社クオルテック(Qualtec Co., Ltd.)	
事業内容	●電子部品の不良解析・信頼性試験の受託および新技術の開発 ●品質管理を中心とした工場経営、実装技術に関するコンサルタント ●レーザ加工・表面処理(めっき)技術を中心とした微細加工 ●試験装置の設計・開発・製造・販売	
設立	1993年1月18日	
資本金	3億9,210万円	
従業員数	257名	
上場	東証グロース市場(証券コード:9165)	
本社所在地	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁230番地	
事業所 所在地	本館(分析センター)	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁231-1
	1号館(レーザ加工室・表面処理実験室)	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁230番地
	2号館(研磨センター)	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁231番地
	3号館(レーザ加工室)	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁234-1
	4号館&5号館	〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町4丁230番地
	6号館&7号館(信頼性試験センター)	〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町3丁27-6
	8号館(バイオ事業部)	〒590-0905 大阪府堺市堺区鉄砲町32-1
	パワエレテクノセンター	〒593-8322 大阪府堺市西区津久野町1丁7-25
	名古屋品質技術センター	〒470-1123 愛知県豊明市西川町笹原28-8
	東京営業所	〒143-0013 東京都大田区大森南3-12-1
	熊本営業所	〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町7-16 富士水道町ビル6F
	滋賀半導体研究開発センター	〒525-0058 滋賀県草津市野路東7-3-46 滋賀県立テクノファクトリー7号
関連会社	SGSクオルテック株式会社 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町3-5-12 御堂筋本町アーバンビル8F TEL:050-1780-7892(代表) FAX:06-6253-2704	

事業所紹介



会社沿革



役員紹介



代表取締役社長 社長執行役員

山口 友宏

2005年3月、株式会社クオルテック入社

2020年4月、代表取締役社長就任(現職)

「まず感謝する。これ以上に、創造性や生産性を高めるのに重要な事はない。」

取締役

大江 準三

社外取締役

石田 智也

執行役員

酒井 信治

常勤監査役

藤田 昌伸

取締役 執行役員

志方 哲明

社外取締役

富田 和之

執行役員

平山 成生

社外監査役

越本 幸彦

弁護士

取締役 執行役員

池田 康稔

執行役員

岩木 正夫

社外監査役

古谷 礼理

公認会計士

取締役

志方 廣一

執行役員

山中 毅

2025年6月末現在

「未来品質の創造」

社会を支えて、未来に残す。

assists your thinking

考えて 考えて 考えぬく

お困りごとを
解決

for smiles of the future

社会貢献になる仕事

製品の安心・安全を
支える

コア・コンピタンス



当社のコア・コンピタンスは「品質技術サービス」にあります。

お客様にお届けするこのサービスは、

「信頼性評価事業」「微細加工事業」「その他事業」という3つの柱と、

「研究開発部門」が支えています。

顧客基盤



当社の強み

【人】・幅広い学術領域をカバーする専門家集団
【人】・設計や製造の現場に精通した技術者集団

【モノ】・110種579台以上の評価・分析設備
【モノ】・190種以上の試験メニュー保有

【力】・盤石な財務内容と着実な成長体質

【情報】・トータル・クオリティ・ソリューションの提案力
【情報】・自動車・半導体・家電業界大手企業での評価実績



ISO/IEC17025

東証上場



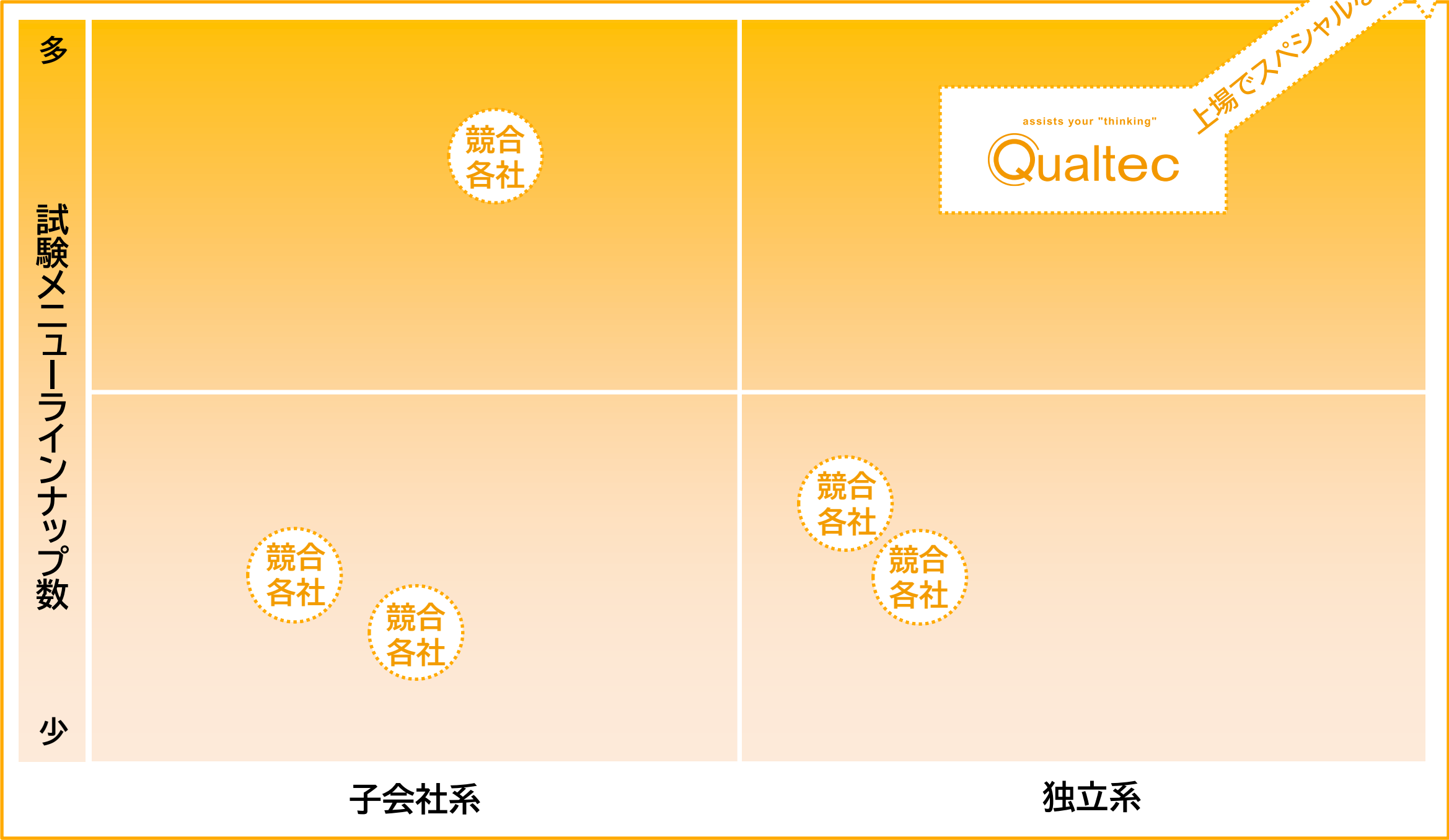
信頼性評価の
アウトソース需要と、
「いのち」に関わる
プロダクトに対する
各種評価試験の
重要性が増大

信頼性 + 透明性 + 公平性を合わせ持つ

独立系検査会社

ポジショニングマップ(試験評価・分析会社)

当社は**国内唯一の上場独立系試験評価会社**。
独立系の中で当社は技術レベルが高く、試験メニューラインナップ数は業界最多レベル。



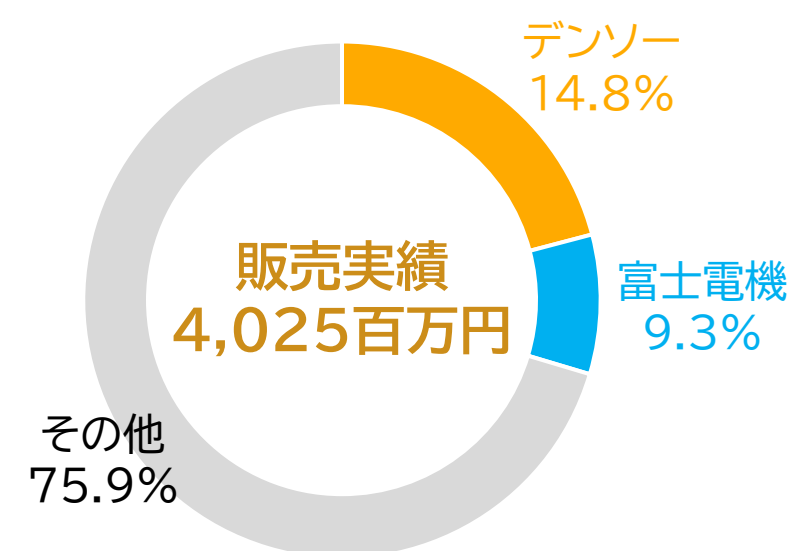
当社の顧客基盤

自動車・半導体業界の大手企業が当社のお客様。中でも、CASE（Connected、Autonomous、Shared/Service、Electricの略）などモビリティの変革をけん引する株式会社デンソー様は当社の主要顧客。

当社の主なお客様

アイシン、味の素、大阪ガス、オムロン、京セラ、クボタ、GSユアサ、シマノ、シャープ、住友電装、ソニー、大丸興業、デンソー、デンソーテン、東芝、トヨタ自動車、豊田通商、日産自動車、日本オーチス・エレベータ、日本シイエムケイ、日本電気、任天堂、パナソニックグループ、富士電機、富士フイルム、古野電気、ホシデン、堀場製作所、本田技研工業、マレリ、三菱自動車工業、三菱重工業、三菱電機、村田製作所、矢崎部品、ヤマハ、利昌工業、ローム（五十音順 敬称略）

販売先の構成



※構成比率は2025年6月期

積極的な設備投資によるノウハウの蓄積

高度な分析には、性能の良い装置や設備が不可欠となり、以前から設備投資を実施。
最先端の設備をはじめ、**110種以上、579台以上の設備**を保有。

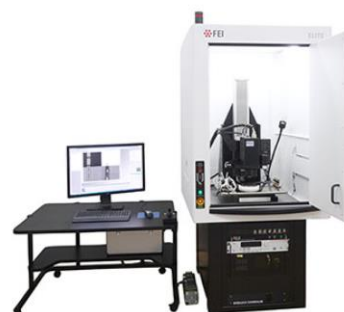
信頼性評価事業



プラズマFIB



超高分解能電子顕微鏡



ロックイン発熱解析装置



超音波顕微鏡



反り測定装置



X線光電子分光装置



X線CT装置



冷熱衝撃装置



恒温恒湿槽



大型複合振動試験機

微細加工事業



レーザー開封機



研磨装置



CO2レーザー加工機



UV-YAGレーザー加工機

フェムト秒
グリーンレーザー加工機

2025年6月末現在

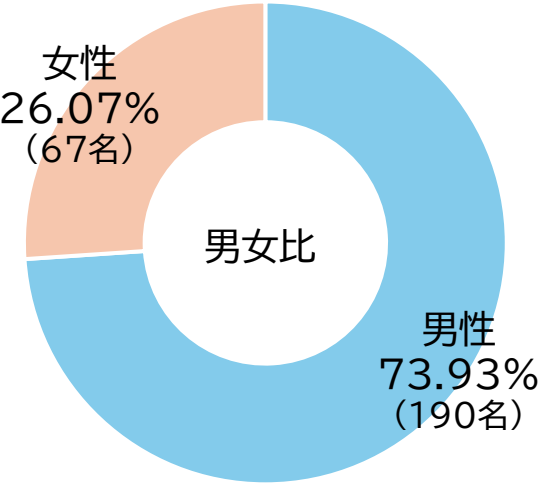
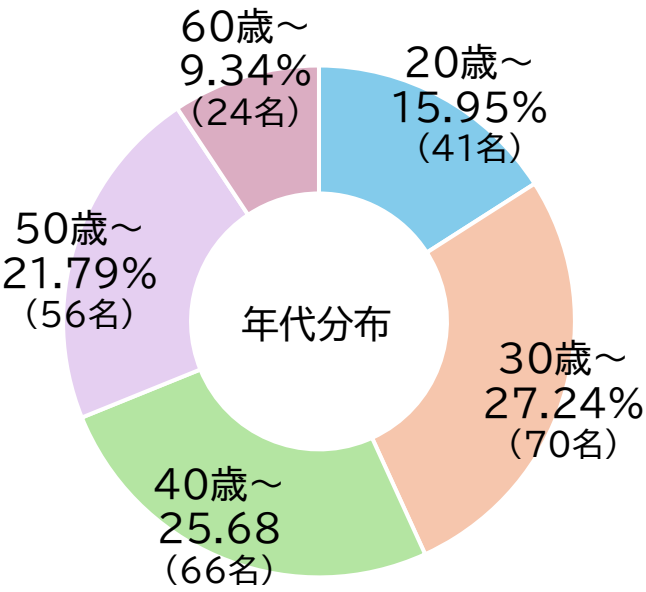
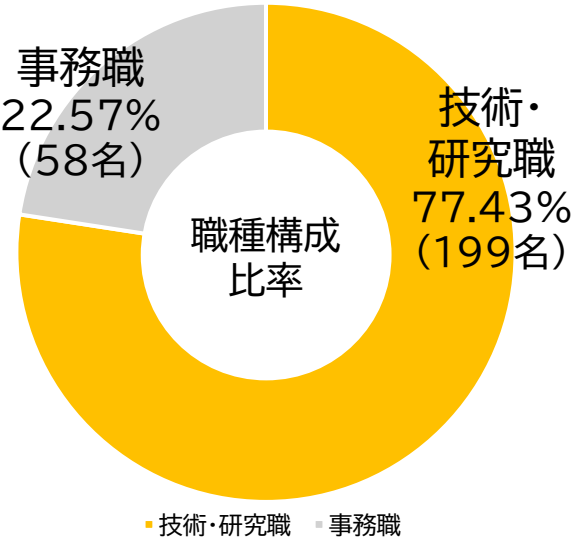
キャリアと若さを両立した人的財産

キャリアと若さを両立した組織構成により、ノウハウ・知見の蓄積と、技術力・分析力の錬磨を日々実施。



社員数 257名

2025年6月末現在

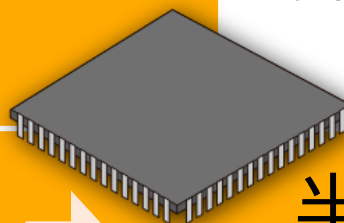


信頼性評価事業における提供サービス

ワンストップで対応
約190種
幅広い試験メニュー

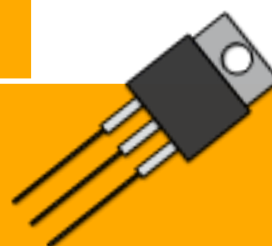
多種・多様な試験・分析が存在しますが、当社は技術力が高く、多くの試験・分析に対応可能です。当社のお客様であるメーカーサイドは、複数の試験をアウトソースするため、同一の会社で多くの試験を完結させられることを喜んでいただけるケースが多いです。

環境試験
分析・故障解析



半導体・電子部品・プリント基板・
PCU・新素材(合金・プラスチック)他

パワーサイクル試験
※1



パワー半導体・電子部品
※2

断面研磨

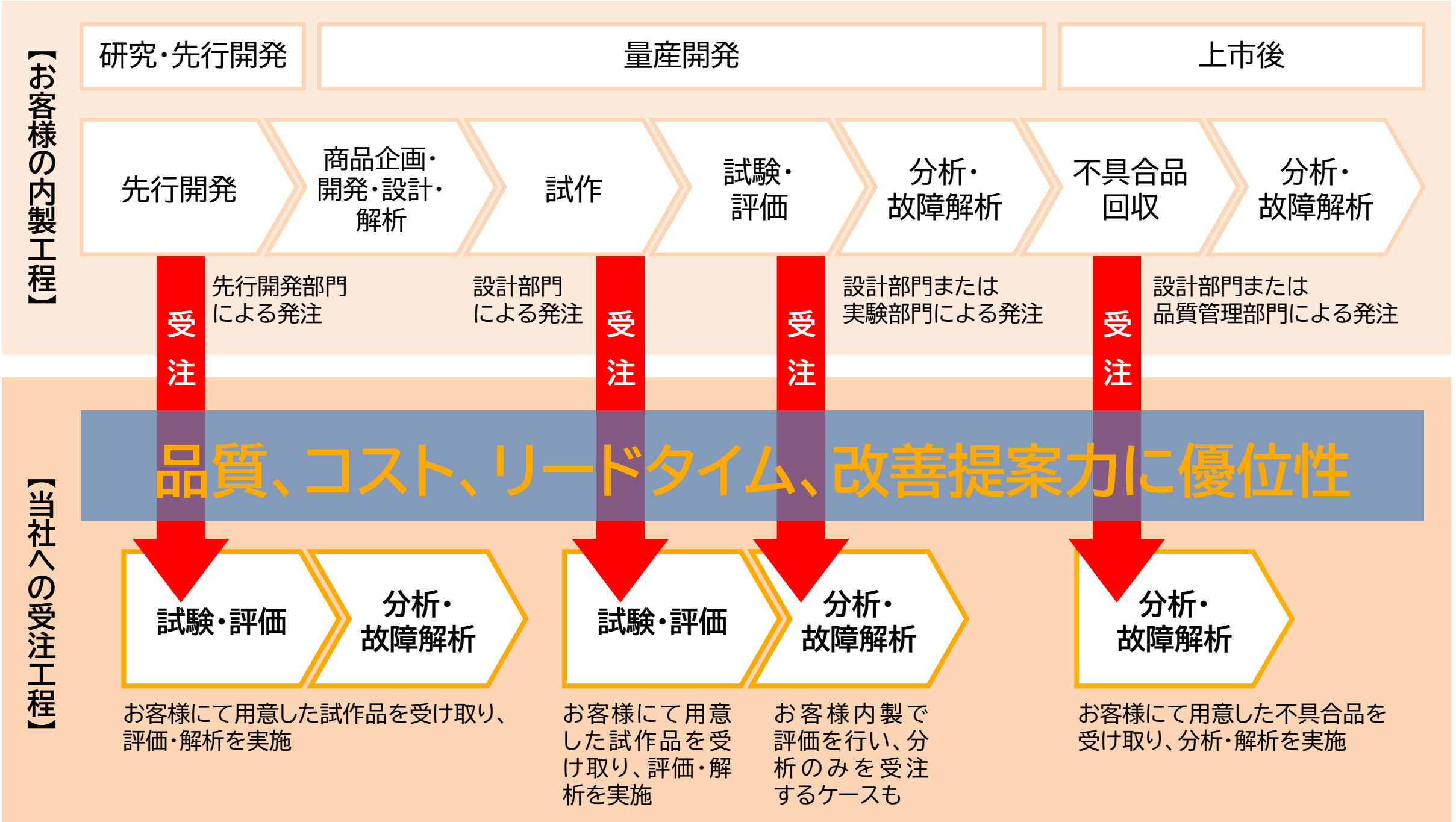


上記素材の切断と研磨加工

※1 パワーサイクル試験: パワー半導体モジュールに使用される各部材の接合信頼性を評価するための機器。
※2 パワー半導体: 高電圧や大電流を取り扱うことができる半導体。

信頼性評価事業における顧客工程と当社受注について

顧客の先行開発から上市後まで**一気通貫でカバー**。先行開発から受注した案件は、量産開発や上市後も合わせて受注する場合が多く、**スイッチングコストが高い**状況。



微細加工事業における提供サービス

【レーザ加工】
20年以上の実績
24時間受付
30台保有

基板のレーザ加工はもちろん、短納期の試作品加工からビッグロットの量産加工まで受注しています。CO2レーザ加工、UV-YAGレーザ加工、フェムト秒グリーンレーザ加工により、特殊な材料の加工、工法が可能。



CO2レーザ加工機



UV-YAGレーザ加工機



フェムト秒グリーンレーザ加工機

受注加工／ビルドアップ基板、フレキシブル基板、シリコンウェハ、セラミック基板、他

【表面処理】
試作加工

ウェットプロセスによるめっき処理については数多くの実績を持ち、素材の機能化や新たな応用分野開拓に力を注いでいます。また、当社独自の表面処理技術開発にも取り組んでおり、新たな表面処理プロセスの開発も行っています。



めっきライン

受注処理／デスミア処理、めっき処理、耐薬品性試験・薬液処理、他

その他事業における提供サービス

【バイオ事業】

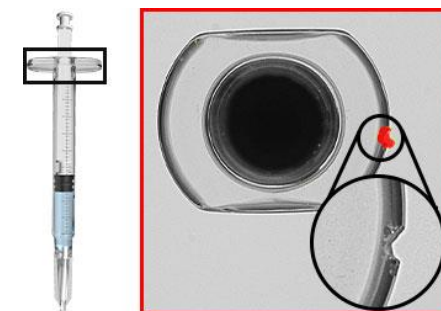
医薬品製造用
部材受託検査

◆シングルユース製品の安全性試験

シングルユース製品を用いることで影響を受ける品質上の事象に、溶出物や不溶性微粒子等の不純物の残存があります。バイオ医薬品製造工程中に持ち込まれることにより、健康被害や製造阻害をもたらすことがないよう、各種安全性試験を行います。



質量分析装置



シリンジ



核酸特性評価装置



バイオ医薬品製造用部材

受注試験／Es/Ls、不溶性微粒子、エンドキシン、ヌクレアーゼ、完全性、理化学、無菌、他



03 | 成長戦略

成長の実績

成長の軌跡は、信頼の積み重ね。

人員も、設備も、技術も——私たちは、お客様の声に真摯に向き合いながら、従業員数・装置数・試験数・特許数の拡大とともに着実な成長を遂げてきました。

売上高

過去3年間CAGR
10.88%

設備台数

2023年6月期 450台
▼
2025年6月期 579台

従業員数

2023年6月期 222名
▼
2025年6月期 257名

離職率

2023年6月期 9.9%
▼
2025年6月期 7.9%

特許登録数

2023年6月期 7件
▼
2025年6月期 11件

成長戦略に向けた2025年6月期の成果

2027年売上50億円達成に向け、企業の成長と持続可能性を支えるべく各施策を実施します

2025年6月期の成果

営業体制の強化

- ・九州地区での
販路拡大
- ・新規顧客の開拓
- ・半導体、電子機器以外
の分野開拓

事業部門の再編・成長施策

- ・新体制による
全体最適化への移行
- ・パワーエレクトロニクスセンター
竣工等の成長投資加速
- ・営業部門との連携強化

成長戦略に向けた2026年6月期の取組み

2027年売上50億円達成に向け、企業の成長と持続可能性を支えるべく各施策を実施します

2026年6月期の取組み

パワエレクトロニクスセンター稼働強化

- ・パワエレクトロニクスセンター増強(P.25参照)
- ・跡地活用による対応力向上



パワエレクトロニクスセンター



パワーサイクル試験機

キャパ
1.5倍

二次電池解析事業の拡充

- ・リチウムイオン電池の解析事業拡大
- ・積極的な設備投資



FE-SEM/EDS



CP加工機



グローブボックス

能力
拡張

新規事業、次世代成長事業

- ・MAPプロジェクト(P.29参照)



- ・新規次世代パワー半導体

新規
技術

技術開発強化

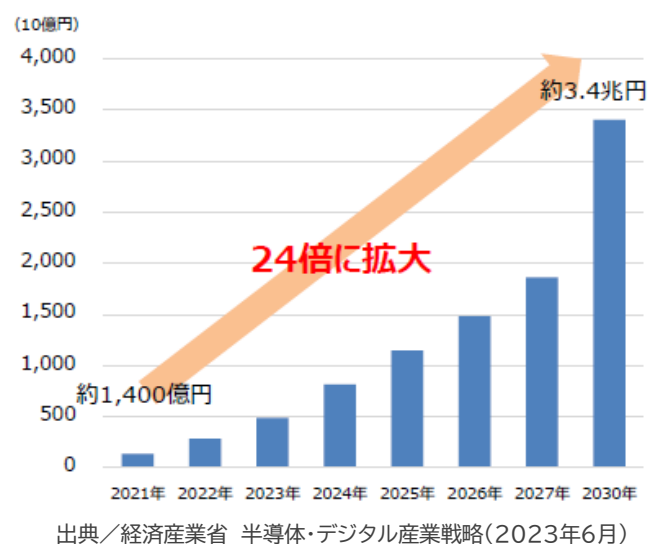
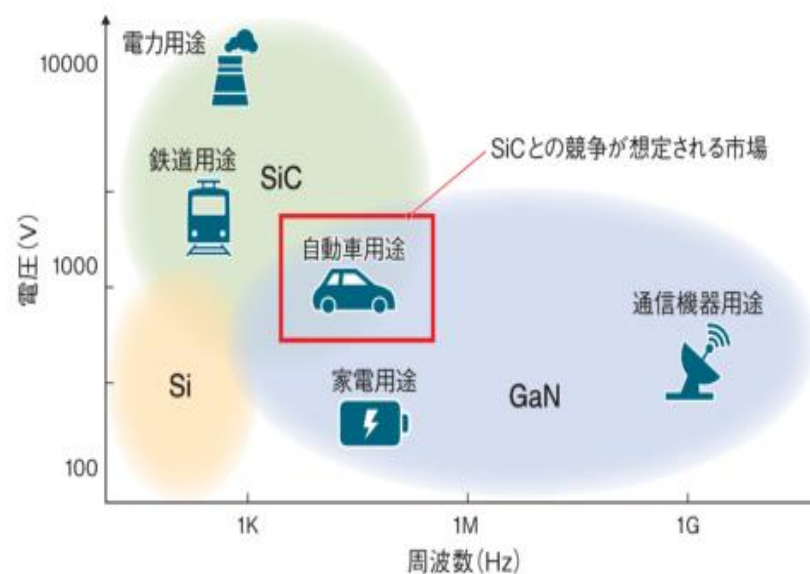
- ・新規事業のシーズ開発(P.28参照)
- ・既存事業の成長支援(P.28参照)
- ・先端半導体パッケージの評価技術(P.26参照)

技術
強化

当社がターゲットとする半導体市場①産業用スペシャリティ半導体

SiC市場の
増大パワー半導体は
SiCが主導次世代半導体の
開発SiCに加え、GaN・
Ga2O3等の次世代
半導体の実用化に向
けた開発が進むパワー半導体
評価ニーズ
増大

SiCパワー半導体の市場推移

耐圧や周波数に応じて、
SiCとGaNが使い分けられる

出典／日経xTECH記事(2023年10月)

様々な半導体材料や半導体
モジュール、パッケージの評
価ニーズが増大

【今後の強化施策】

既存事業の拡大として、パワエレクトロ
ニクスセンター増強や半導体モジュールの故障
解析の能増投資。

当社がターゲットとする半導体市場②先端半導体パッケージ

チップレット化
拡大

素材・装置メーカーが
集約する先端パッケー
ジ開発拠点を設立へ

+

材料・工法に
変化

2.5D/3Dパッケー
ジング技術、シリコンブ
リッジ、ハイブリッドボ
ンディング等を開発

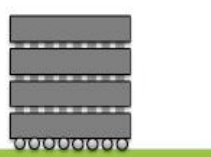
次世代
パッケージの
評価ニーズ
増大

先端パッケージ開発の加速

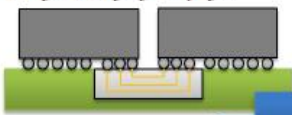
■ 2.5Dパッケージ



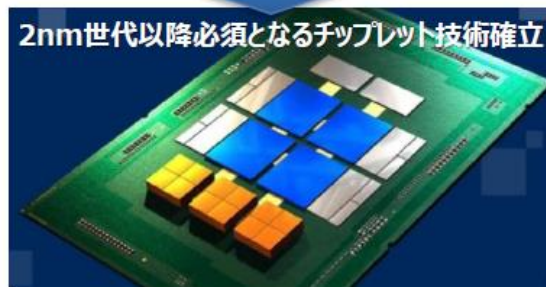
■ 3Dパッケージ



■ シリコンブリッジ



2nm世代以降必須となるチップレット技術確立



出典／経済産業省 半導体・デジタル産業戦略(2023年6月)

当社が最も強みとする基板実装やめっき技術の知見が活かせる先端半導体パッケージの信頼性試験（基板反り測定・マイグレーション試験）や各種分析評価が好調

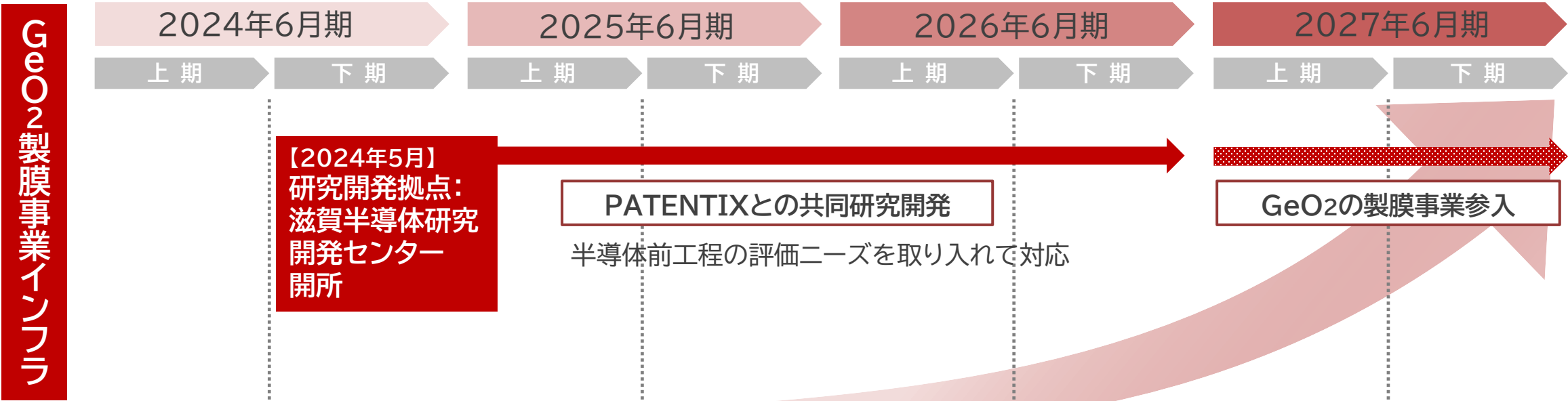
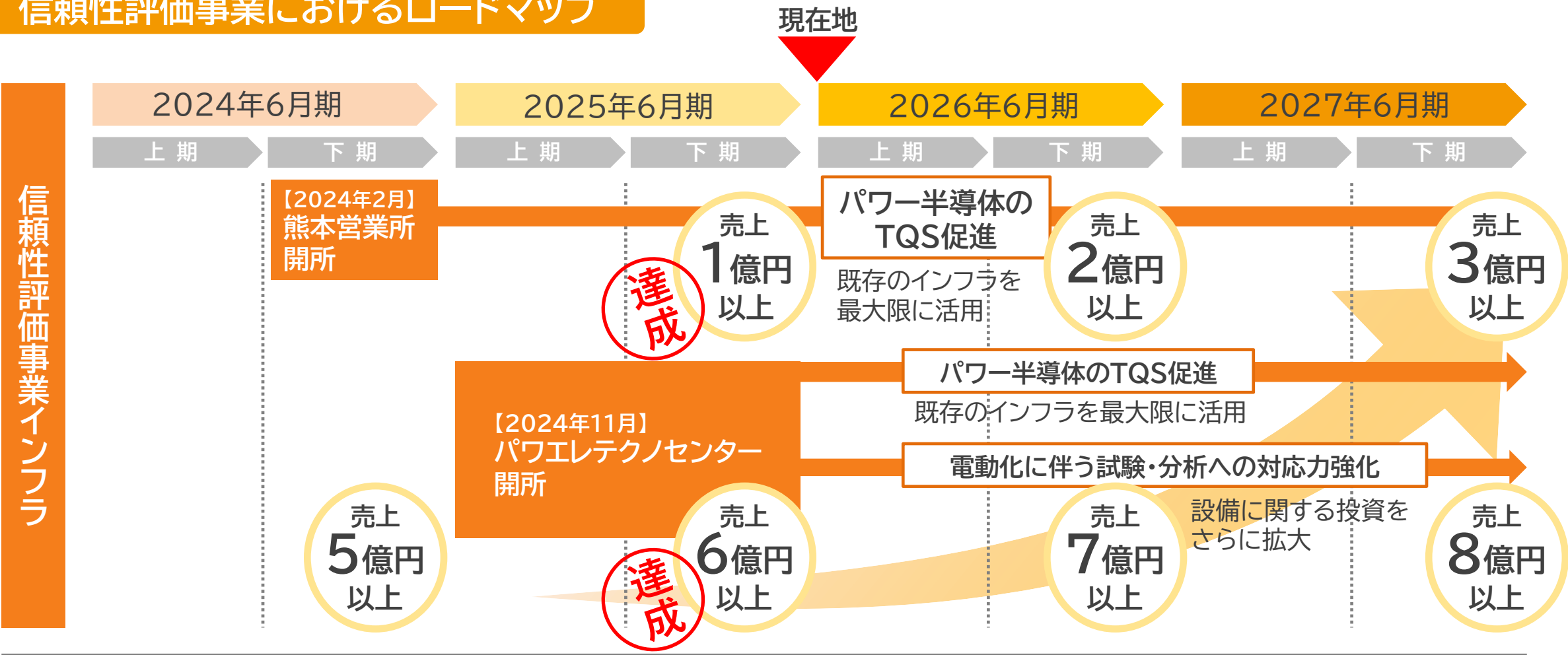


反り測定装置



マイグレーション
テスター

信頼性評価事業におけるロードマップ



研究開発の強化

新規事業のシーズ開発と既存事業の成長支援を目的にした研究開発を行っており、多彩な技術を軸とした研究により、新たな事業分野を創出。

目的	ニーズ	内容
新規事業のシーズ開発	実装評価期間の短縮	はんだ等実装部のクラック進展予測シミュレーション
	観察・測定業務の自動化	AIを活用したボイド/クラック画像解析アプリ「Qualap」
	難めっき材料への表面処理	MAPプロジェクト
	安全な次世代二次電池	全固体フッ化物イオン電池
既存事業の成長支援	研磨作業の省力化	断面研磨および検品の半自動化ロボット
	研磨の効率化とコストダウン	治具開発および小型研磨機の自社開発
	表面処理の応用性向上	めっきによる電池負極の性能向上
	電池解析の技術拡張	全固体電池のインピーダンス測定

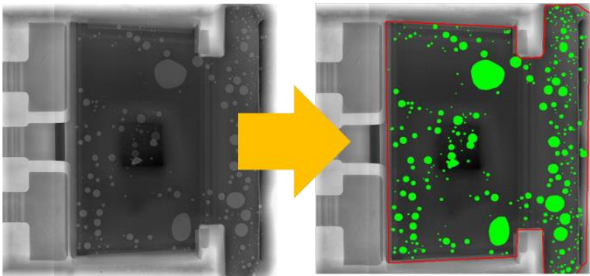
新規
技術

早期
事業化

早期
事業化

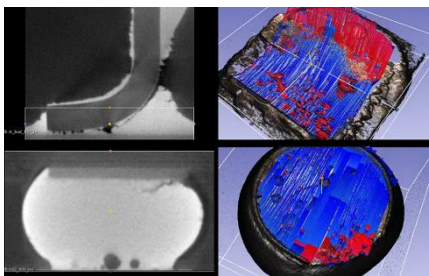
AI画像検査

パワー半導体に関する研究



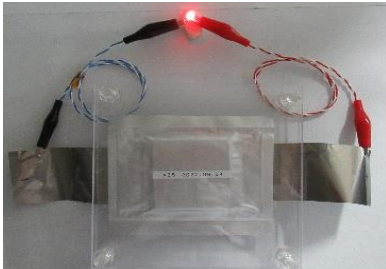
3Dクラック検査

パワー半導体に関する研究



水系電気二重層
キャパシタ

オートモーティブに関する研究



インピーダンス
測定システム

オートモーティブに関する研究



新規プロジェクト発足:MAPプロジェクト①

新規
技術

MAPプロジェクト

【Mist-Assisted universal Plating Project】

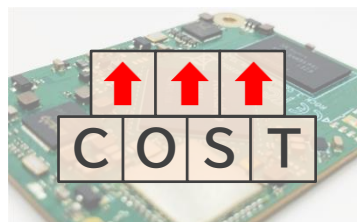
開発テーマ:ユニバーサルめっき法によるコーティング技術の開発

目的:低コストかつ安定供給可能な環境配慮型技術の確立

背景 お客様のお困りごと

・原料コストや装置コストの上昇

例) 貴金属の急騰、
輸入コストの上昇、
物価の上昇



・環境規制の厳格化

例) RoHS指令、
REACH規制、
PFAS規制



解決できる手段・方法

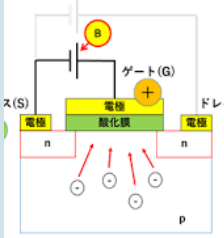
次世代成長産業を支える**低コスト**かつ
安定供給可能な**環境配慮型技術**の確立

ユニバーサルめっき法による
コーティング技術の開発

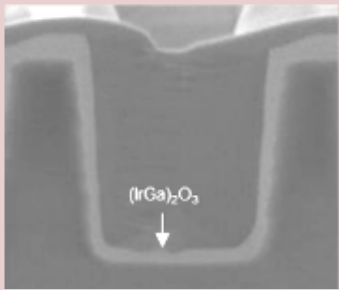
新規プロジェクト発足:MAPプロジェクト②

ユニバーサルめっきを用いた機能性膜のコーティング例

機能性膜…基材の表面に付着することで、基材に新たな機能を与える

膜材料	ITO, IGZO	HfO2, Y2O3	Al2O3, Ti, Ru	SnO2, TiO2
				
機能	導電性	絶縁性	耐摩耗性	耐薬品/耐酸化



基材	絶縁体	管の内壁	繊維上	微細構造
	 			

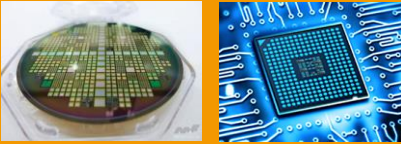
次世代成長産業の発展へ大きく寄与できる可能性あり

通信



スマートフォン/
基地局

半導体



パワー半導体/
パッケージング

医療



CT,X線/
インプラント

航空宇宙



タービン/
宇宙船窓

再エネ



水素発電/燃料電池
ペロブスカイト
太陽電池

二次電池解析事業の拡充

技術
強化早期
事業化

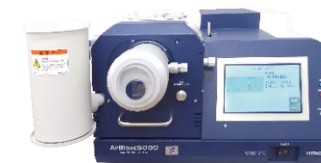
全固体電池の研究開発を推進



- ・フッ化物全固体電池の研究開発
- ・全固体電池の劣化診断に役立つインピーダンス測定法の確立
- ・同インピーダンス測定用システムの開発



FE-SEM/EDS



CP加工機



グローブボックス



インピーダンス測定システム



04 | 業績見通し

事業の全体像

信頼性評価事業

売上構成比

88.3%

営業利益率

29.9%

微細加工事業

売上構成比

10.3%

営業利益率

44.7%

その他事業

売上構成比

1.4%

営業利益率

—

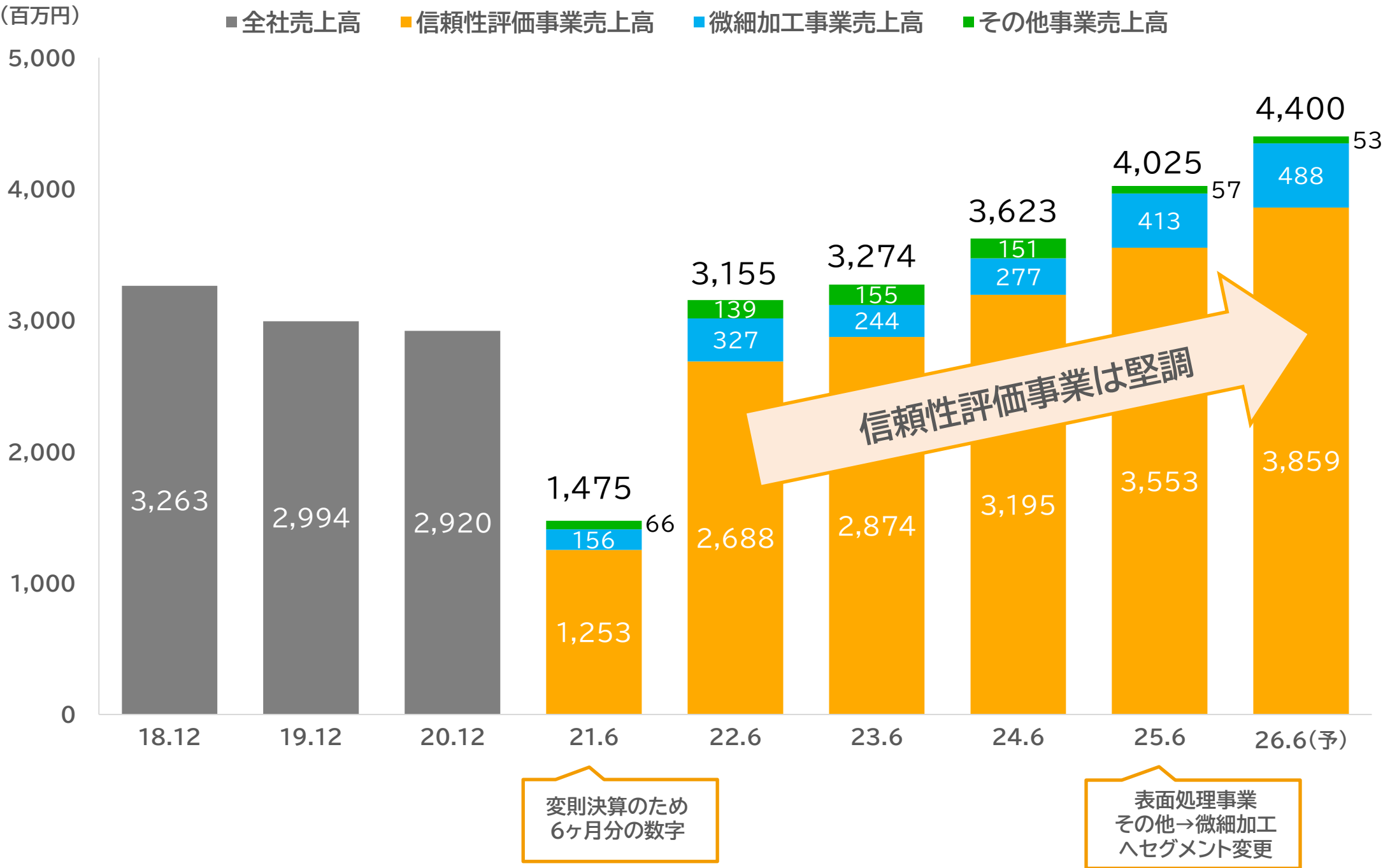
研 究 開 発 部 門

全社営業利益率 9.6%

売上構成比・営業利益率は共に2025年6月期実績(セグメント情報は本社共通費除く)

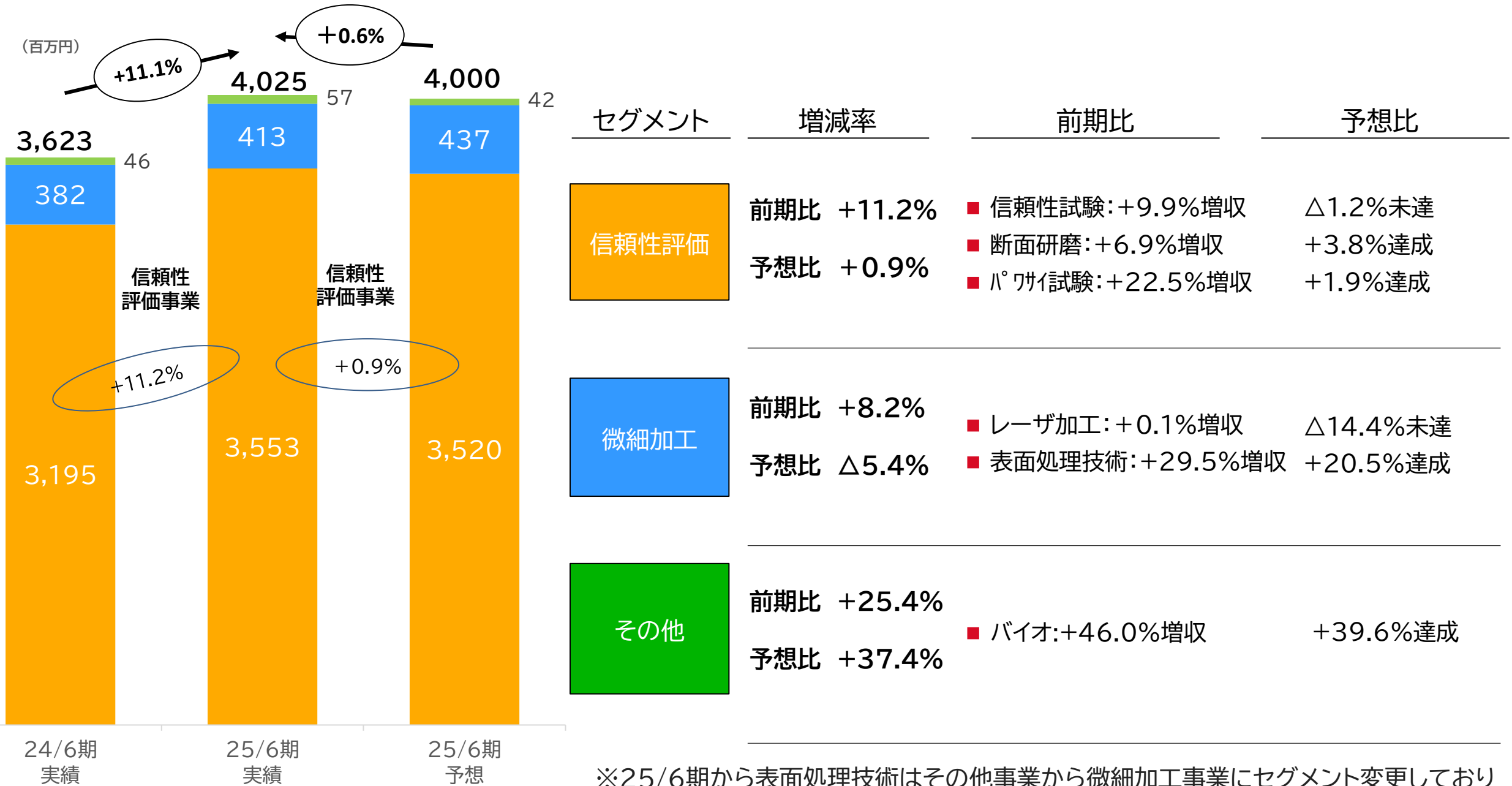
売上高の推移

当社主力事業である信頼性評価事業は順調に成長
2026年6月期業績予想については、前期比9.3%成長を目指す



販売概況 セグメント別売上高(前期比/予想比)

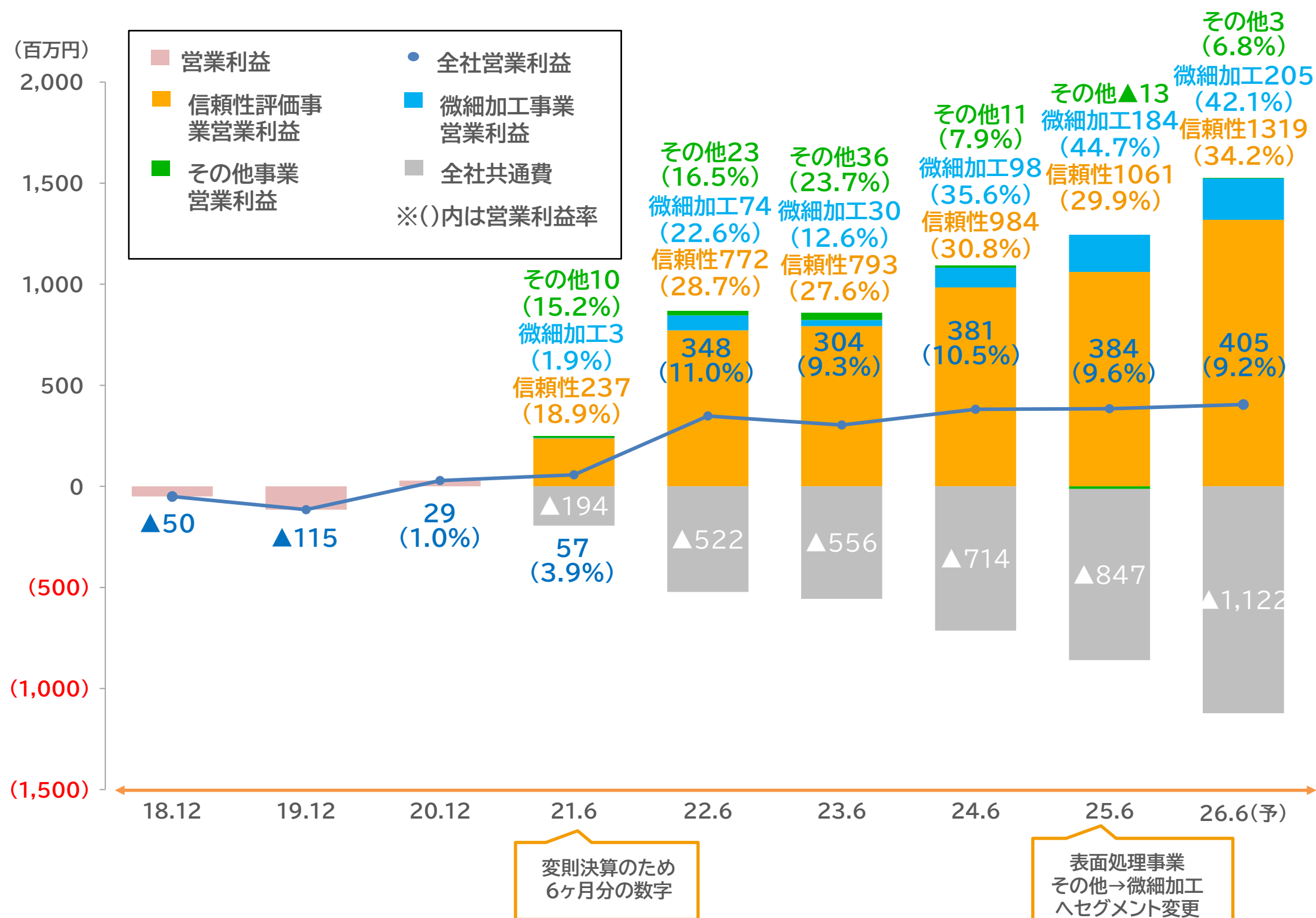
全社売上高は全セグメントで成長を図り、前期比+11.1%増収、予想比+0.6%増収達成。
信頼性評価事業はパワサイ試験を中心に好調に推移し、前期比+11.2%増収、予想比+0.9%増収達成。
微細加工事業は表面処理技術が好調に推移し、前期比+8.2%増収も、予想比△5.4%減収未達。
その他事業はバイオ信頼性試験が好調に推移し、前期比+25.4%増収、予想比+37.4%増収達成。



※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しており
前年同期も組み替えて比較しています。

営業利益の推移

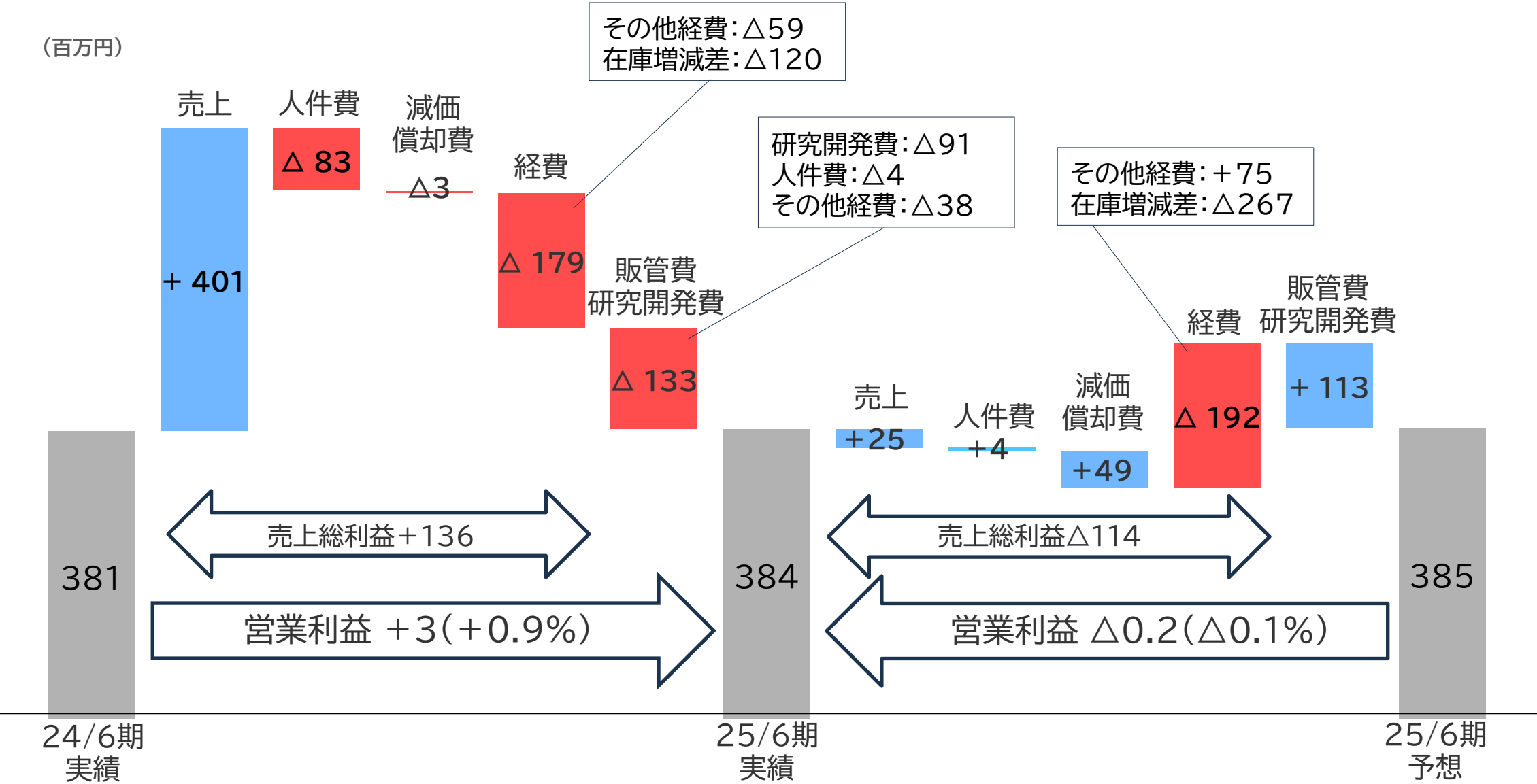
2025年6月期は過去最高益を達成 2026年6月期業績は前期比増益予想



営業利益増減分析(前期比/予想比科目別)

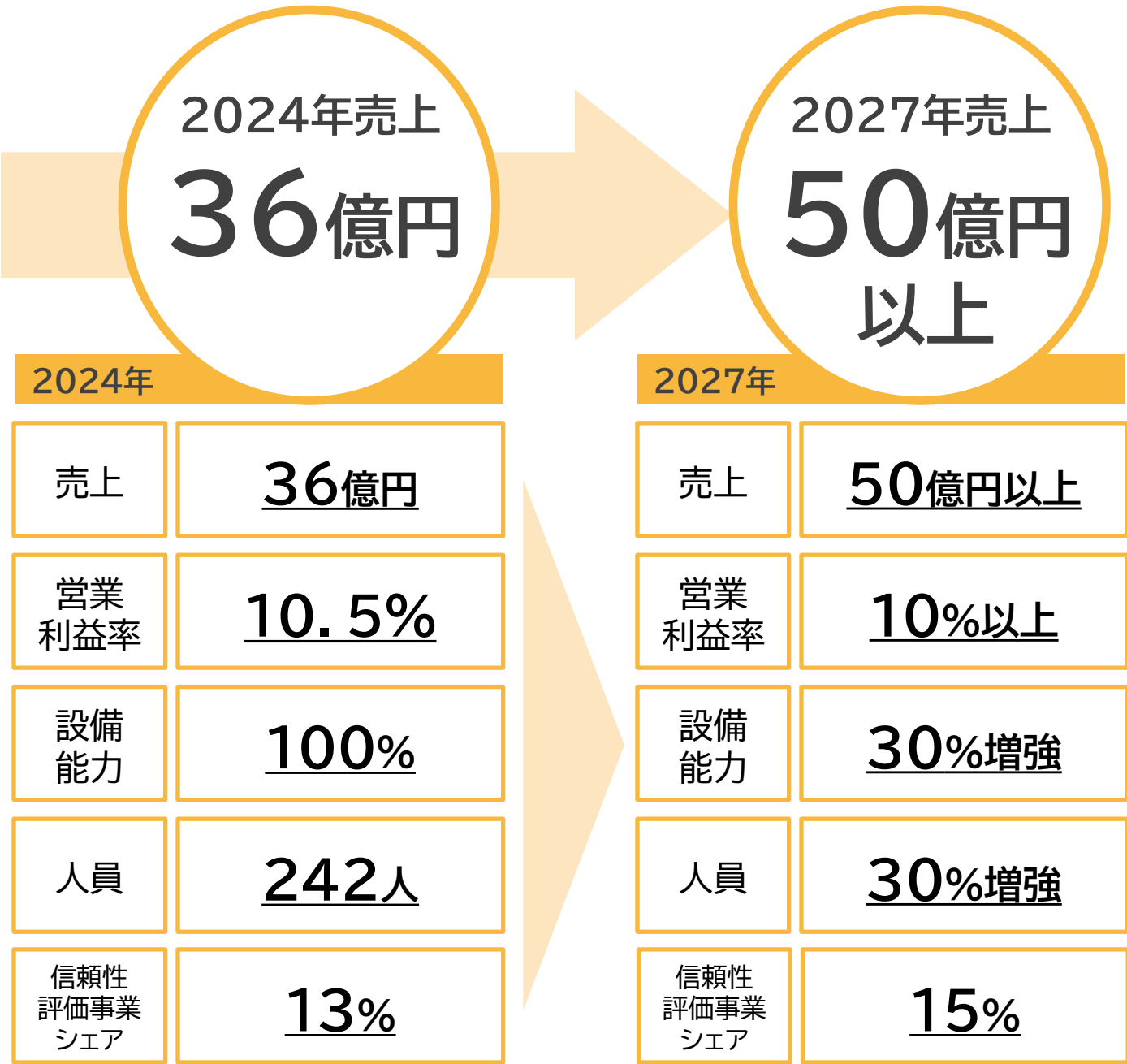
営業利益は対前期比+3百万円(+0.9%)増益の384百万円。信頼性評価事業を中心とした成長戦略に向けた拡販体制増強を図り、売上高+401百万円増収により売上総利益は+136百万円増益。次世代半導体を中心とした研究開発積極推進等に伴う販管費・研究開発費増△133百万円をカバー。

対予想比は概ね達成。売上高+25百万円増収及び各種費用抑制を推進するも、在庫増減差影響により、△0.2百万円(△0.1%)減益。



2024-2027年経営目標

事業機会を捉え、成長の可能性を広げる



中期目標内訳
全社売上:50億円以上 24-27CAGR 11.6%
信頼性評価事業売上:43億円以上 24-27CAGR 10.6%
アウトソーシング市場成長との連動
微細加工事業売上:5億円以上 24-27CAGR 22.1%
ヘルスケア業界への進出により成長確保
その他事業売上:2億円以上 24-27CAGR 11.6%
バイオ受託ビジネス拡大による成長確保

成長戦略加速による投資・研究開発費等の影響を踏まえ、
営業利益率目標を15%以上から10%以上に見直し。

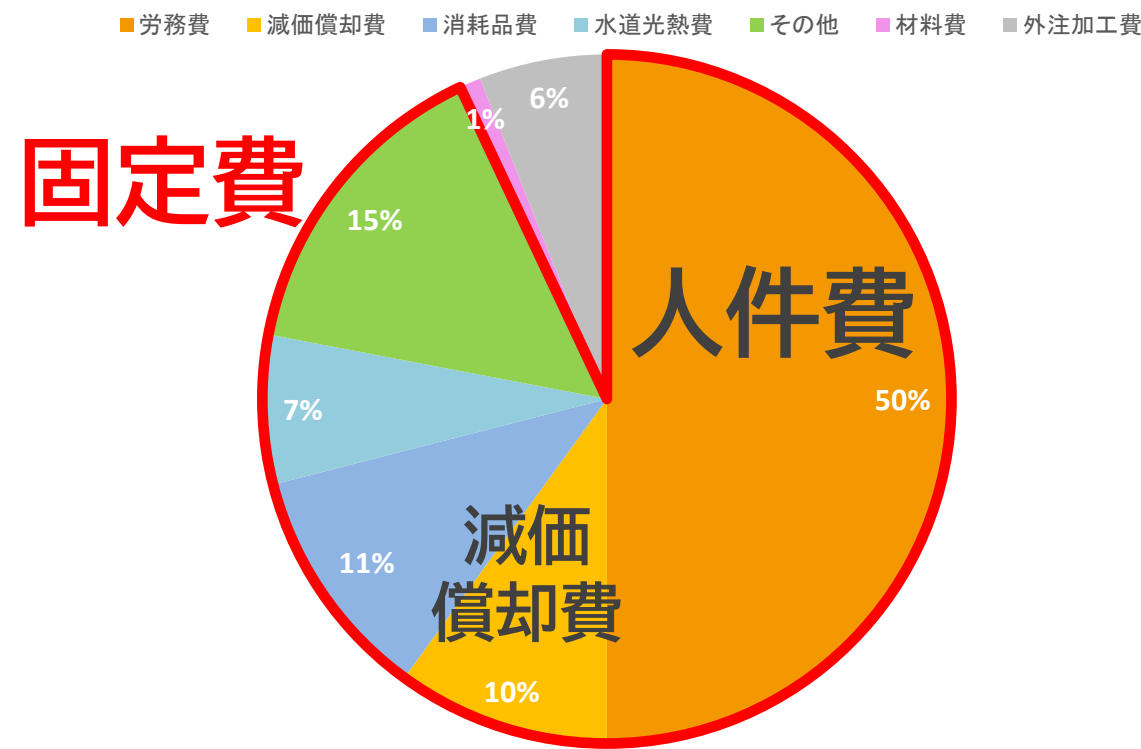
設備投資について
24-27累計投資で有形固定資産残高130%以上を見込む
特にパワーサイクル試験能力は新拠点展開もあり、
24年から設備台数を1.5倍に拡大させ、全社設備能力を
15%から30%増強に見直し。

研究開発費について
24-27累計研究開発費で8億円程度を予定(年平均2億円)
従来の研究開発に加え、新規事業に向けた研究開発に注力。

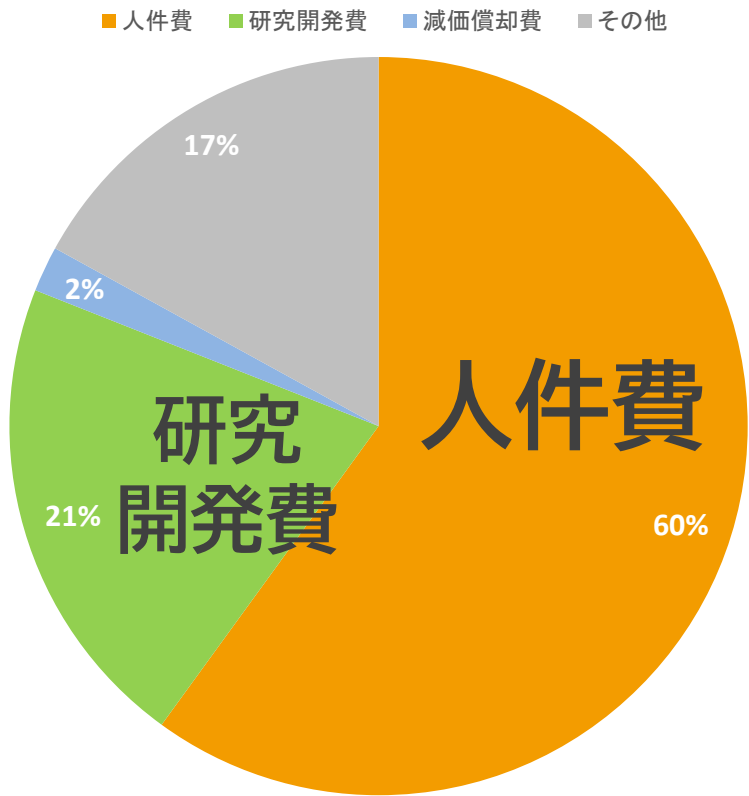
当社の収益構造

固定費(人件費・減価償却費等)の比率が高く 売上増が利益増に直結

売上原価の詳細費目(25/6期は2,786百万円)



販管費の詳細費目(25/6期は854百万円)

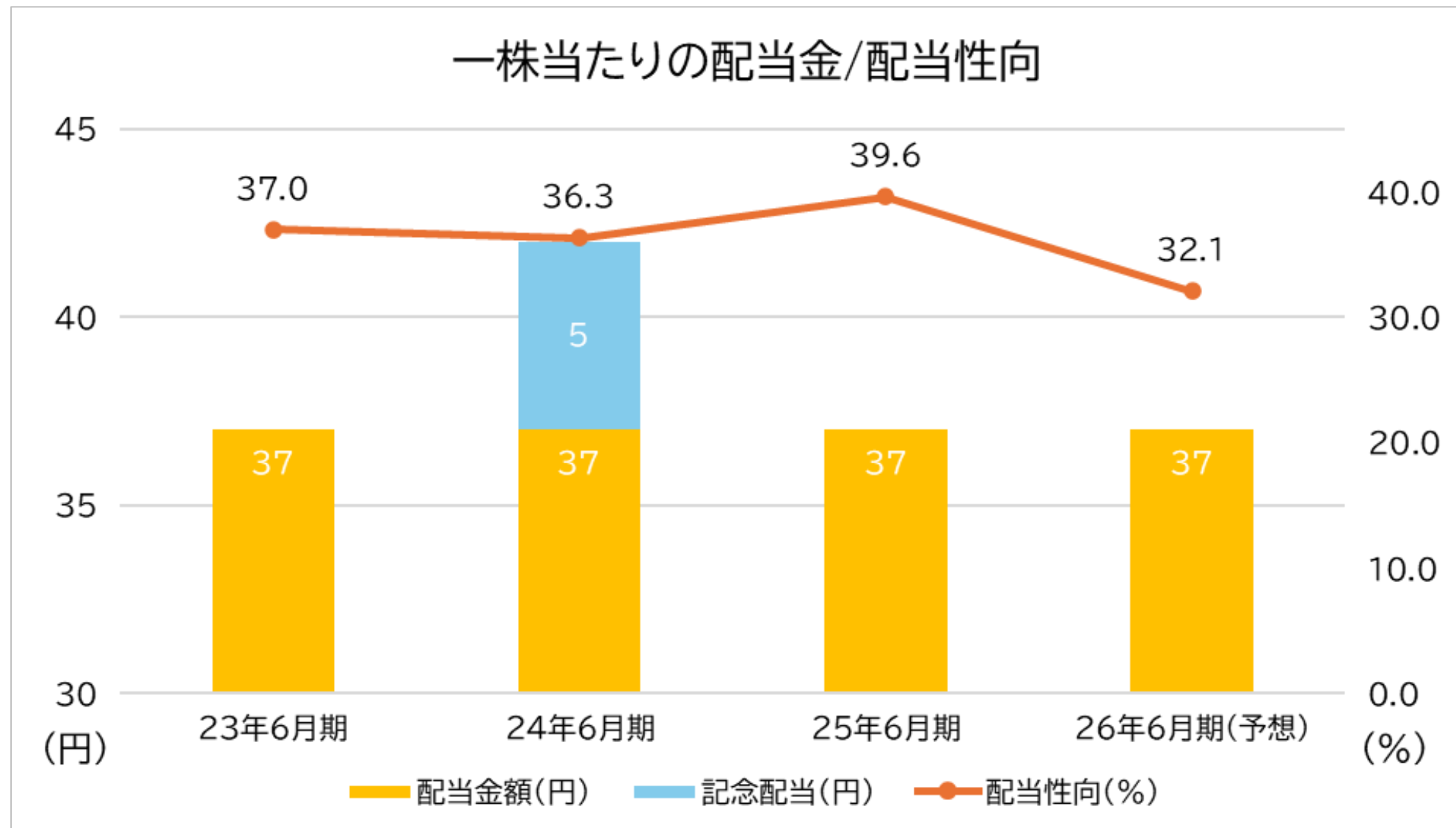




05 | まとめ

一株当たり配当金推移/配当性向

持続的な成長と財務健全性を重視し、安定した配当を実施してきました。
今後も業績動向を踏まえつつ、適切な利益還元を行いながら、
株主の皆さまへの安定的な配当を継続する方針です。



事業を通じた貢献

企業が社会的および環境的な責任を果たすことを通じて、持続可能な発展を目指すための枠組みであるESG（Environment:環境、Social:社会、Governance:企業統治）。当社でもこれらに係る社会的課題を解決させることにより、サステナビリティ戦略での実行可能なフレームワークとして機能させることを目指します。

社会貢献活動:堺市教育委員会「企業による学びの応援プログラム」の一環として、当社より講師派遣。

サステナビリティに関する指標(25/6期実績)

離職率7.9%(24/6期7.9%、目標5%以内)、男性の育児休業取得率100.0%(24/6期60.0%、目標80%以上)

BCP

基本方針・対応
マニュアルの見直し

CSR

組織の透明性や
倫理、行動規範の尊重

情報セキュリティ

機密性、完全性、
可用性を高める

環境

廃棄物の分別と
リサイクルの徹底

IR

ステークホルダーとの
定期的な
コミュニケーション

統制

コンプライアンス
体制の強化

社会

「企業による学びの応援
プログラム」への参加

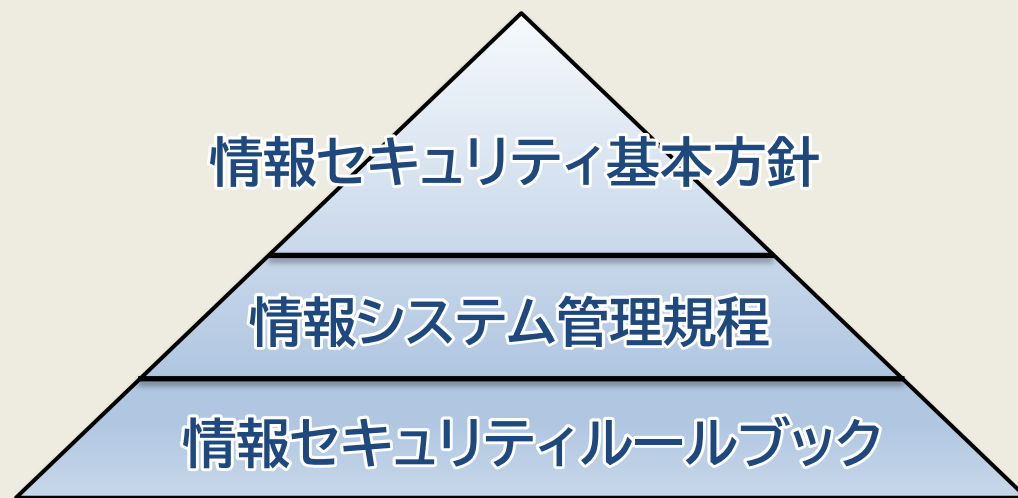
人的資本

教育・育成、
社内環境整備、
男性育休取得率等

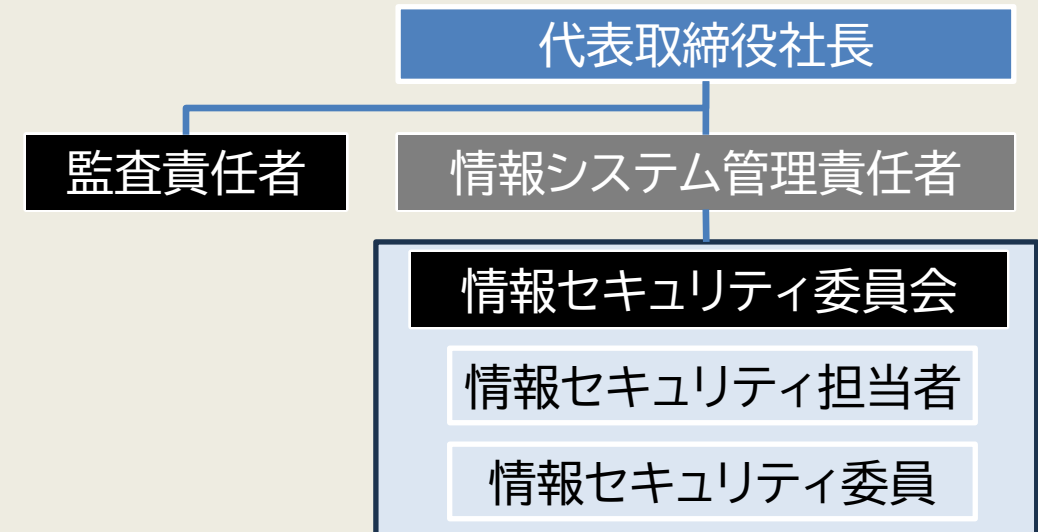
情報セキュリティ管理体制

お客様に＜安心＞＜満足＞＜感動＞して頂くために、正確な分析データ・客観的な信頼性データ・緻密な実験データを迅速に提供することを目的に、お客様に係る有形無形の情報を大切に取り扱うことを情報セキュリティのポリシーとして掲げます。

情報セキュリティ規程体系



情報セキュリティ管理体制



具体的な取り組み

■技術的対策

アクセス制御: 従業員の役割や権限に応じたアクセス制限とログ管理にて不正アクセスや情報漏洩のリスクを低減

侵入検知システム: 外部からの不審なアクセスや攻撃を検知し、迅速に対応することで被害を最小限に抑制

マルウェア対策: AIを活用したEDR (Endpoint Detection and Response)の導入によるマルウェア感染を防御

脆弱性管理: OS・ソフトウェアの脆弱性を定期的に確認し、アップデートを実施することでサイバー攻撃からのリスクを軽減

■物理的対策

入退室管理: 電子錠によって入退室を制限し、物理的な不正アクセスを防御

警備員・監視カメラ: 24/365体制で警備員を配置ならびに監視カメラによる監視

■人的対策

セキュリティ教育・訓練: 従業員向けに定期的なセキュリティ教育・訓練を実施し、情報セキュリティの重要性を啓蒙

ESGの具体的な取り組み

Environment:環境、**Social:社会**、**Governance:企業統治**、に対し、SDGsを念頭に活動

12 つくる責任
つかう責任



【環境配慮プロジェクト】

クオルテックの事業活動が、環境に悪影響を及ぼさないようにするための方策を、当プロジェクトでは提案・実行していきます。限りある資源を有効活用するため、お客様にサンプルをご返却する際に使用している梱包用の段ボール箱を、再生紙を利用したものに変更しました。また、ノベルティとして配布したカレンダーについても再生紙を使用したものに変更するなど、プロジェクトを着々と進行しています。

13 気候変動に
具体的な対策を



【今後の取り組み】

壁掛けカレンダーやフライヤーなどへも再生紙の使用を検討。



梱包用段ボール箱



卓上カレンダー



FSC認証は、経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的とした国際的な認証制度です。

ESGの具体的な取り組み

Environment:環境、**Social:社会**、Governance:企業統治、に対し、SDGsを念頭に活動

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



【地域貢献プロジェクト】 堺市教育委員会 企業による学びの応援プログラム

堺市教育委員会では、企業等と連携・協働し、講師派遣をはじめとした「地域貢献活動(CSR活動等)」を学習プログラムとして登録し、学校園やPTA、放課後児童対策事業所などで行われる子どもから大人までを対象とした様々な教育活動に提供することで、学校教育活動や地域活動の活性化を支援しています。



堺市立少林寺小学校での模様

【今後の取り組み】 堺市教育委員会 との関係強化

「企業による学びの応援プログラム」に、講師派遣プログラムを引き続き掲載します。また教育委員会を通して、堺市一円の小中学校からの相談を受け付けすることで、地域の学びに貢献します。

1 貧困を
なくそう



3 すべての人に
健康と福祉を



交通遺児への寄付

当社は自動車メーカーと共に、車の品質安全を保証し、交通事故ゼロを目指す立場です。関わりのある自動車における事故で亡くなられたり、重度の後遺障害になられた方の残されたお子さんに対して、学資を貸与することで教育の機会均等を図り、社会有用の人材を育成できる機関を選定。残された遺族の経済的事情により、勉強を続けられなかったり、大学に行けないといった壁を乗り越えやすくするためにも寄付は必要であると考えます。お子さんの立ち上がる力を支援します。

2024年度は

①交通遺児育英会 ②大阪交通災害遺族会 の2団体を選定し、寄付を実施しました。



【今後の取り組み】 寄付の継続活動

企業としての責任を果たすべく、社会貢献活動を引き続き実行します。2025年-2026年も同様、2機関への寄付を実施する予定です。

2団体から頂いた書状

ESGの具体的な取組み

ESG/SDGs関連プロモーション及び、未来品質の創造に関する研究開発により、会社の付加価値創造を進めます。



●IR活動の充実 投資家に向けた当社のESGおよびSDGsの活動を開示。

●社内人材教育 ESGおよびSDGsに関連する教育の企画推進を行うことで、社員一人一人が取り組めることを考える機会を創出。

当社の強み

信頼性評価事業

独立系検査会社

信頼性評価事業

トヨタ・デンソーをはじめとした
自動車・半導体業界大手企業が顧客

信頼性評価事業

約190種の幅広い試験メニュー

信頼性評価事業

最先端の設備をはじめ、
110種、579台以上設備保有

信頼性評価事業

知見の蓄積、技術力の錬磨
品質、コスト、改善提案力に優位性

信頼性評価事業

パワー半導体の評価において、
業界随一の豊富な経験とキャパシティ

微細加工事業

高難度の加工も実現する技術力と
徹底した品質管理

研究開発

MAPプロジェクト始動

研究開発

全固体電池の材料開発
および評価法開発

ESG/SDGs

節約・節電、環境負荷低減、省エネ
出前授業、寄付、障がい者採用等取組み

中長期目標

トータル・クオリティ・ソリューションの
進化を続けることで、
全社成長を目指します

M&Aの活用

GeO₂製造製膜事業参入

バイオセンサ量産

名古屋品質技術センター拡張

パワエレクトクノセンター設立

TOYOTA/DENSOとの
Relationship強化

医薬品製造部品受託検査

熊本営業所設立

2025年売上
40億円
以上

現在地

2027年売上
50億円
以上海外展開
も視野に大きく
成長

新規事業領域

既存事業領域

長期目標 売上

100
億円以上

目指す姿



イノベーションドライバ

当社が掲げる「未来品質の創造」を実現することで、
社会のイノベーションを突き動かす(ドライブ)存在へ



06 | 附錄

事業等のリスク①

当社が経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している事業等のリスク(抜粋)は、以下の通りであります。

なお、文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものであります。

こちらに記載以外のリスクについては、有価証券報告書の「事業の状況＞3事業等のリスク」をご参照ください。

リスク項目	リスクの内容	対応策
①市場環境に関するリスク		
自動車業界の構造変化に伴う業績変動リスク (顕在化の可能性:中/影響度:大/発生時期:特定時期なし)	自動車業界の構造の変化 ・2030年のガソリン車廃止方針 ・同業界企業との間でシェア争い	・積み上げてきた実績・技術を背景として国内外の顧客基盤の拡充
競合他社、新規参入に関するリスク (顕在化の可能性:中/影響度:大/発生時期:特定時期なし)	新規参入企業の増加や当社の技術力を上回る国内外の企業が出現 ・新規参入企業の増加や当社の技術力を上回る国内外の企業が出現する可能性 ・市場競争が激化し、当社が市場における競争力を維持できない場合や、顧客が競合他社のサービスに移行した場合には、当社の経営成績及び財政状態に影響	・独立系検査会社であり第三者機関としての責務を果たすため、日々技術力の向上に努め、顧客の高水準のニーズに対応することで、競合他社と比較して優位性を確保 ・既存顧客との関係強化や新規顧客への取引拡大により、各事業における競争優位性を維持・向上させる事業活動
②事業に関するリスク		
特定顧客への依存リスク (顕在化の可能性:中/影響度:大/発生時期:特定時期なし)	信頼性評価事業における自動車業界の顧客向けの売上割合 ・同社グループの業績等が変動した場合には、当社の経営成績及び財政状態に影響	・新たに見込まれる需要の取り込み ・自動車業界以外への業界シェア拡大
人材確保及び育成に関するリスク (顕在化の可能性:中/影響度:大/発生時期:特定時期なし)	少子高齢化による労働人口の減少 ・計画通りの人材確保・育成が困難	・優秀な人材の確保・人材育成 ・安全で働きやすい職場環境づくり・社員教育

事業等のリスク②

リスク項目	リスクの内容	対応策
③法的規制に関するリスク		
コンプライアンスに関するリスク (顕在化の可能性:中／影響度:大／発生時期:特定時期なし)	・社会的信頼の喪失 ・従業員の身体的、精神的不安や金銭的損害	・コンプライアンス規程を整備 ・法令遵守の啓蒙活動や内部監査などを通じた検証
知的財産権に関するリスク (顕在化の可能性:中／影響度:大／発生時期:特定時期なし)	・保護が不十分であった場合あるいは違法に侵害された場合 ・他社の有する知的財産権を侵害したと認定され、損害賠償等の責任を負担する場合	・特許権の取得により知的財産権の保護
④その他のリスク		
災害の発生等によるリスク (顕在化の可能性:中／影響度:大／発生時期:特定時期なし)	・地震等の自然災害や火災・事故等による、従業員や試験設備等の被害 ・売上高の減少や試験設備等の修復又は代替のための費用の発生	-
地政学的リスク (顕在化の可能性:中／影響度:大／発生時期:特定時期なし)	・物価の高騰や為替相場の変動等により景気動向が減速 ・顧客の業績悪化、投資行動の急激な変化	-

注意事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」は、2026年8月に開示する予定です。

assists your "thinking"

Qualtec

